

PASS XP-15

Phono Equalizer Amplifier



XP-15 は多くの賞を勝ち取った Xono フォノステージのシングルシャーシとしての後継機です。ローレベルでのノイズ低減、より精緻な解像度、より良く制動された低域を実現、魅力的な 1 シャーシのフォノイコライザーになっています。豊かで優れたリスニング経験だけがこの素晴らしいコンストラクションに次のような結果をもたらしました。広く、しっかりした低域を伴って、瑞々しく、滑らかな音質です。

XP-15 はカートリッジのゲインや負荷にかかわらず、10 オクターブ以上のバンド幅にわたって 1/10dB 以上の極めて正確な RIAA イコライザーカーブを誇ります。このイコライザーカーブはアナログレコードのレコーディングとプレイバックの間の業界標準です。

XP-15 のゲインは 46dB から 76dB まで可変です。高出力 MM カートリッジから低出力 MC カートリッジまで、昇圧トランス無しでオペレーションできます。入力に昇圧トランスを置かない XP-15 のアクティブサーキットデザインはカートリッジから驚くほどの繊細さと明快さを引き出すことができます。

XP-15 の驚異的なローノイズ / ハイゲインサーキットは 0.08mV 出力のカートリッジで 0.5V 以上のライン出力を得ることができます。また、微小電流を扱うため、左右チャンネルを独立サーキットとしクロストークを極限まで減らしています。PASS はこれらのスペックがフォノステージ界でも突出した数値であると思っています。入出力はリアパネルに集中し、カートリッジの種類による設定、と負荷による設定はディップスイッチでコントロールされます。

XP-15 はセットアップが容易で、とても使い易くデザインされています。XP-15 によって、今日、アナログレコードが音楽メディアとして大きなマーケットにあった時よりも、アナログレコードから至上のサウンドが得られるでしょう。

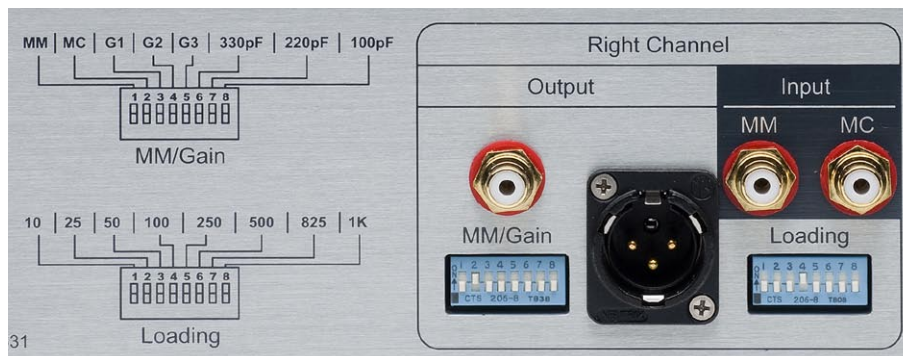
Pass Laboratories 社 /Nelson Pass

伝説的なオーディオデザイナーである Nelson Pass によって 1991 年に設立された Pass Laboratories 社はカリフォルニア、フォレストヒルにあります。

初期の Aleph シリーズから最新の X と XA シリーズまで多くのパテントを持ち、オーディオ界でいくつもの賞を獲得してきました、またそれらの製品は継続的なユーザーが多いことで知られています。

彼の業績は彼の Threshourd 社における最初のダイナミッククラス A アンプ回路の開発に始まり、フルカスコードパワーアンプ、そして 1977 年の Stasis アンプの開発まで輝かしいものがあります。

Pass Laboratories 社設立後はソリッドステートでのシングルエンドクラス A パワーアンプの普及に努め、その後 Aleph シリーズ、そして現在の Super-Symmetry™ サーキットの製品開発に成功、これらは例外的に低い歪率とノイズレベルを示します。今、PASS はアンプのみならず、入力と出力の方向に新世代の製品を開発中です。その一つが XP-15 フォノイコライザーアンプと SR-1 スピーカーシステムです。



製品仕様

- ゲイン：76dB balanced out.
- 歪率：
 - ・ MC THD +noise 0.03% at 0.5 mV
 - ・ MM THD +nose 0.005% at 10 mV
- 周波数特性：
 - 20Hz ~ 20kHz (± 0.25 dB)
 - 5Hz ~ 100kHz (- 3 dB)
- RIAA 偏差：± 0.1dB(10Hz ~ 20kHz)
- セットアップ項目：
 - ・ MM/MC 切替
 - ・ MC Loading：10-25-50-100-250-500-825-1K Ω切替
 - ・ MM Gain：G1-G2-G3 切替
 - ・ MM 負荷容量：330pF-220pF-100pF 切替
- 入力インピーダンス：
 - ・ MM：47k Ω /330pF-220pF-100pF
 - ・ MC：10-25-50-100-250-500-825-1K Ω切替
- 入力端子：アンバランス (RCA)
- 出力端子：バランス (XLR) or アンバランス (RCA)
- 最大出力：20Vrms
- 消費電力：25 W 100VAC
- 外形寸法：432 W x 102 H x 340 D (端子含む) mm
- 重量：8.6kg
- 価格：600,000 円 (税別)